

# 「土木」という仕事 (水路編)

## くらしに必要な水が絶え間なく届くように

川を流れる水やダムで貯められた水が、皆さんの水道の蛇口や田んぼ、工場へ届くまでには、堰や水路によって24時間365日送り続けられる必要があります。

水資源機構は日本の産業と人口が集中する地域において、ダムの他にも大規模な水路や堰、調整池などを造り、完成後は水のライフラインとしてそれらの施設を管理し、安定的な水供給を担っています。

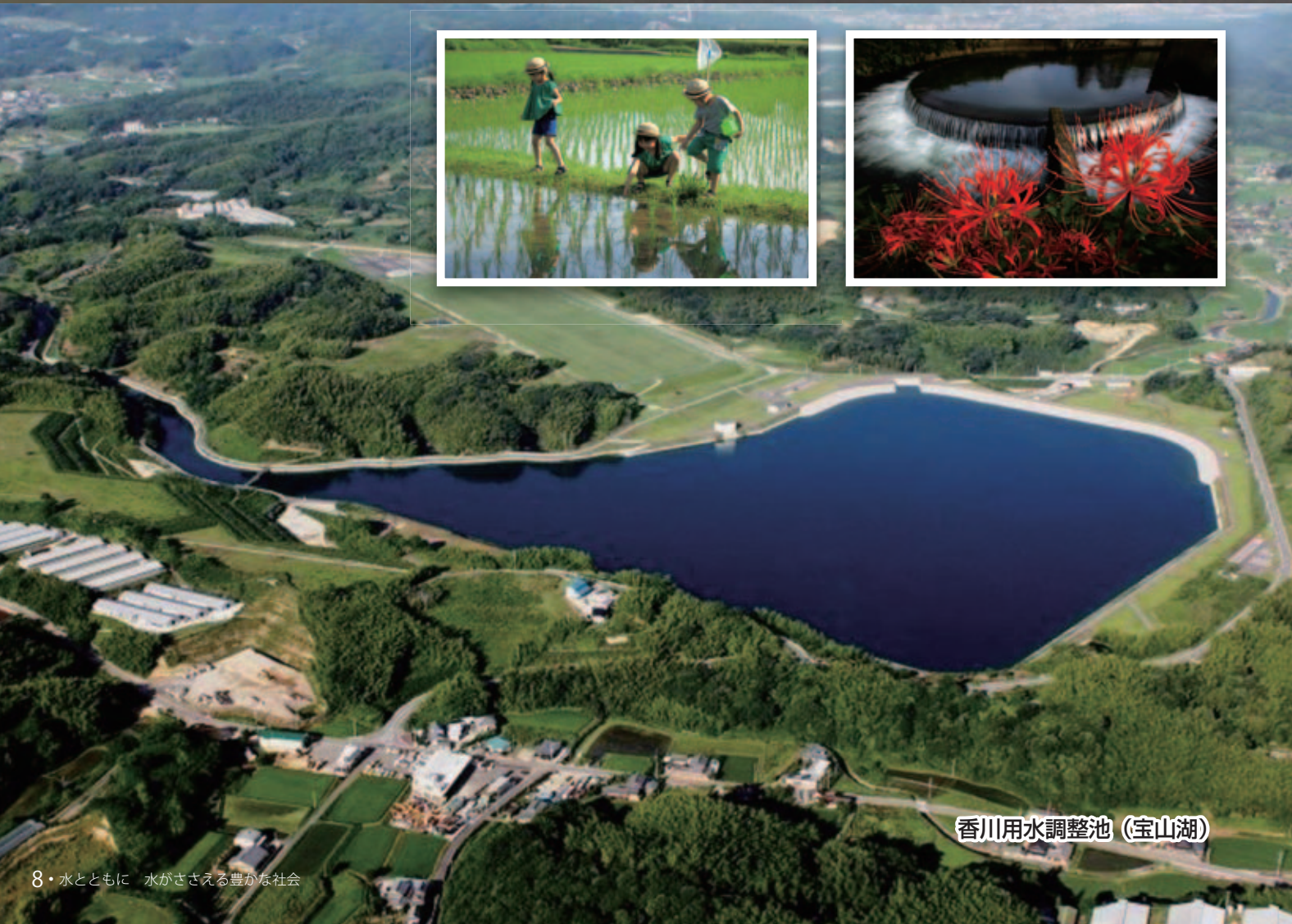
利根大堰



## 水のライフライン「水路」を日夜守っています。

水の需要は季節の移り変わりや天候によって変わります。お客様である水道や工業用水の浄水場、農業用水を管理する土地改良区の皆さまと共に無駄のない水利用を目指しています。また、施設の老朽化に伴う事故や、地震や風水害といった災害などにそなえて日々施設のメンテナンスを行い、支障が生じる前に適切な補修・補強や更新を行っています。

愛知用水幹線水路



香川用水調整池(宝山湖)

豊川用水併設水路



「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ために必要な施設構成や、施設の老朽化・異常気象・大規模地震といったリスクへの対策などを考慮しながら、水路施設の整備計画を検討しています。計画の作成に当たっては、利水者の皆様をはじめとして、国や自治体など多くの関係者と整備内容や費用負担の割合などさまざまな調整を行います。

多くの人と関わりながら水路施設の根幹となる計画を作り上げていく、時に難しい部分もありますが、非常に取組みがいのある仕事です。



水の届け先である浄水場、土地改良区に対して、管理状況の報告や予算要求などで日頃よりコミュニケーションを図り、施設の補修・補強や更新が必要となった場合には、その計画について関係者調整を行います。

24時間・365日、お客様のニーズに応じて施設を操作して水を送ります。また、安定的な水供給のため、施設の定期的なメンテナンスを実施します。



香川用水は、香川県を東西に貫く多目的用水路であり、慢性的な水不足に悩まされてきた香川県の産業と生活を支える、“さぬきの大動脈”です。私の勤務している香川用水管理所では、吉野川から取水した水を、無駄なく、かつ安定して提供できるように、日々細やかな配水管理を行うほか、近年では、老朽化した施設の更新も大切な仕事のひとつとなっています。

“水”で社会を支える確かな実感と、誇りを持って日々の業務に励んでいます。

のじり だいすけ 野尻 大輔 平成 17 年入社 本社水路事業部



計画・調整

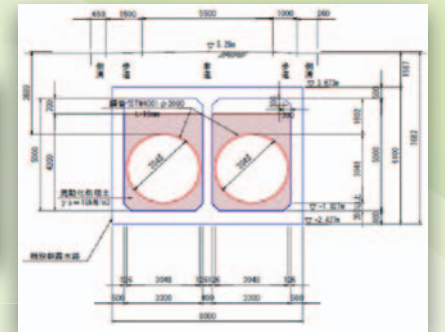
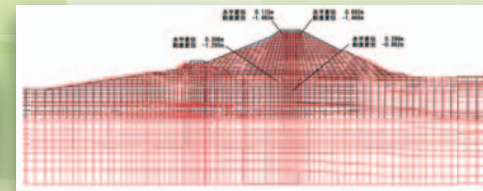
安定供給を  
ワーク

こばやし しほ 小林 志歩 平成 28 年入社 利根導水総合事業所



調査・設計

ささえる  
サイクル



関係者間で合意された計画を実行するために、必要な測量、地質や環境などの調査を行い、工事を実施するための設計や費用の計算(積算)を行います。

工事が設計図面どおりに実施されているか、材料や施工方法は適切かなどのチェックを行い、必要に応じて設計の見直しを行います。



工事



いずみ こうすけ 泉 昂佑 平成 28 年入社 木曾川用水総合管理所

木曾川用水では、農業用水や水道用水を送る老朽化したパイプラインを新しくする工事を実施しており、私はその工事部門を担当しています。

現場条件と照らし、設計図面や仕様書に基づく内容が確実に実施されているかを確認します。

設計・積算を行ったものが実際に出来上がっていく様子を見ることができ、とてもやりがいのある仕事だと感じています。特に管の布設替えを終えて通水が完了したときには、すばらしい達成感があります。

さいとう だい き 斎藤 大貴 平成 29 年入社 香川用水管理所



水管理・運用  
施設保全

